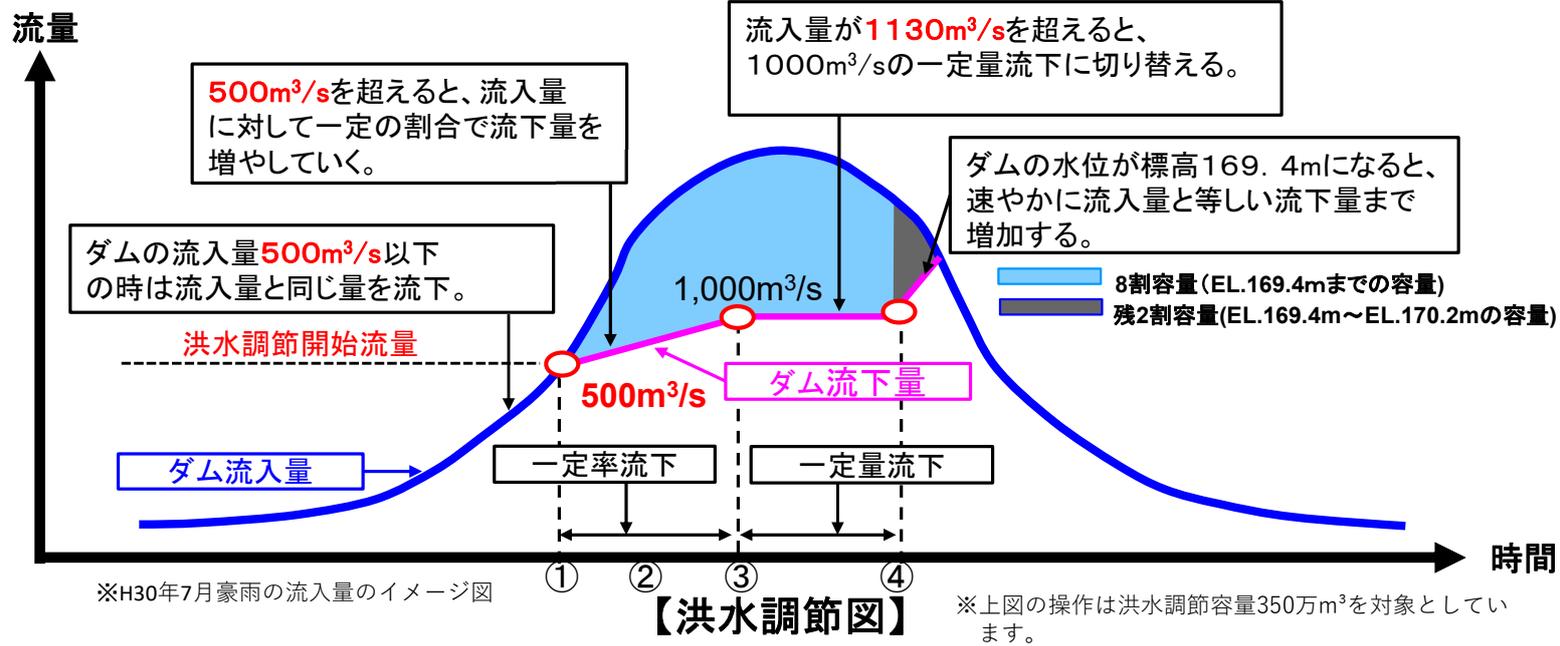


国土交通省 肱川ダム統合管理事務所から 住民のみなさまへ大切なお知らせです。

操作規則が変わりました【令和6年6月1日】



操作規則変更の概要

- ・肱川緊急治水対策により進めていた築堤工事や河道掘削等が進捗し、川の中を流れる流量が増えたことから、「野村ダム」及び「鹿野川ダム」の操作ルールを変更します。
- ①ダムへの流入量が500m³/sまでは、流入量と同量の流下を行います。
- ②その後、流入量が500m³/sを超え1,130m³/sの間にある場合は、一定の割合で貯留しながら、次の計算式で算出された量を流下させます。

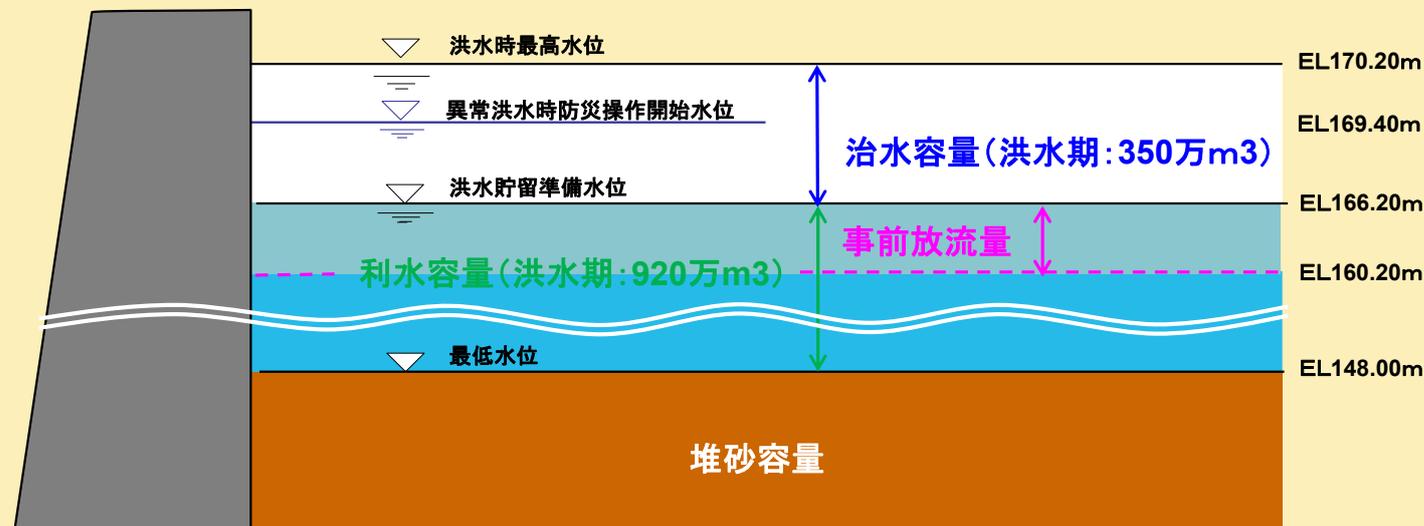
$$\text{流下量 (m}^3/\text{s)} = (\text{流入量 (m}^3/\text{s)} - 500 (\text{m}^3/\text{s})) \times 0.790 + 500 (\text{m}^3/\text{s})$$
 ※例えば、ダム流入量が800m³/sの場合のダムからの流下量は、 $(800 - 500) \times 0.790 + 500 = 737 \text{ m}^3/\text{s}$ となります。
- ③流入量が1,130m³/sを超えたとき以後は流入量が1,000m³/sに等しくなるまで、流下量を1,000m³/sの量で流下させます。
- ④ただし、貯水位が標高169.4mに達し、今後さらに洪水時最高水位170.2mを超えることが予測される場合は、流入量と等しくなるまで流下量を増加する操作「異常洪水時防災操作(いわゆる緊急放流)」を行う場合があります。一方で、今までより異常洪水時防災操作(いわゆる緊急放流)の最大流下量を低減できます。

異常洪水時防災操作(緊急放流)について

- ・異常洪水時防災操作(緊急放流)とは、大規模な洪水によりダムが満水になることが想定される場合、ダムに入る水量とダムから流下させる量を同じ水量に近づける操作です。
- ・異常洪水時防災操作(緊急放流)の可能性のある場合約3時間前と約1時間前にアナウンスとサイレン吹鳴等を行います。
- ・異常洪水時防災操作(緊急放流)を行うと野村ダム下流では、川が氾濫し、また、既に氾濫している箇所は拡大する恐れがあります。
- ・異常洪水時防災操作(緊急放流)が開始される前に住民の皆様は自治体等の指示に従い避難し安全を確保して下さい。

野村ダムの洪水調節に関する水位と用語

野村ダムに関する重要な用語と解説



- * 事前放流(利水者の協力)は洪水調節機能の向上のために洪水前に利水容量内に貯留された流水を流下させる操作です。
- * 非洪水期(10/16~6/15)の治水容量は80万m³です。EL170.20m~EL169.40mの容量を使用します。
- * 6/16~7/14は非洪水期(80万m³)から洪水期(350万m³)へ治水容量を増やすために貯水量を下げしていく移行期になります。

項目	解説
洪水時最高水位	洪水時、一時的に貯水池に貯めることが出来る最高の水位です。
異常洪水時防災操作(緊急放流)開始水位	ゲートなど機械式放流設備を持っているダムにおいて、操作規則等の本文で定めた「本則操作」による洪水調節を続けた場合に、貯水位が洪水時最高水位を超えることが予測される場合、操作規則等のただし書きの規定により、貯水位に応じてゲートを操作し、流量を流入量まで増加させる操作を「異常洪水時防災操作(緊急放流)」といいます。このような操作を開始する水位です。治水容量の8割程度に相当する水位を目安としています。
洪水貯留準備水位	洪水調節を目的とするダムのなかには、洪水期に洪水調節のための容量を大きくとるために、洪水期に限って常時満水位よりも水位を低下させる方式を採用するダムがあります。このような場合に、洪水期に超えてはならないものとして設定されている水位を「洪水貯留準備水位」といいます。
最低水位(堆砂面)	ダム貯水池運用で想定しているもっとも低い位置の標高です。
堆砂容量	貯水池へ流入した土砂を堆積させる容量です。ダムの建設後、時間の経過とともに貯水池内に堆砂が進行します。このためダム計画上、通常、利水や洪水調節のための有効貯水容量に影響が出ないように、別に貯水池の立地条件に応じた堆砂容量を確保しています。堆砂容量を超えて堆砂が進行すると、治水や利水の機能が計画通りに果たせなくなることになります。

・詳しくは国土交通省のホームページ『川の防災情報』の提供情報を参照してください

・利用方法

パソコン・携帯電話を利用の場合

・ダムの諸量の説明

<https://www.river.go.jp/kawabou/pcfull/tm?itmknCd=7&ofcCd=22570&obsCd=1&isCurrent=true&fld=0>

・各ダム情報や河川情報等のデータ

<https://www.river.go.jp>

放流警報設備

警報所・放流警報情報板 位置図



施設の機能



サイレン・スピーカー警報所

回転灯: ダムのゲートから流下していることをランプで表示しています。

スピーカー: ダム操作についてアナウンスで伝えます。

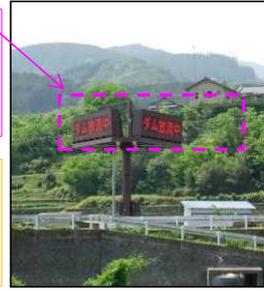
サイレン:
ダム操作について
サイレンで伝えます。



スピーカー警報所

電光表示板【大型】:
ダムのゲート操作に
ついて「ダム放流
中」を表示しています。

電光表示板【小型】:
ダムのゲート操作に
ついて「ダム放流
中」を表示しています。



情報板

重要

野村ダムの放流警報

異常洪水時防災操作のサイレン・アナウンス等

- 異常洪水時防災操作（緊急放流）の可能性がある場合に、**約3時間前と約1時間前に周知**を行います。（警報車による周知は3時間前のみ）
- サイレンの吹鳴回数は下記のとおりです。

吹鳴回数

異常洪水時防災操作（緊急放流）：2セット

鳴らし方は、「10秒鳴って5秒休み」を15回繰り返しを2セットます。（約8分）

(10秒) (5秒)

—
吹鳴—
休止

×15回 (2セット)

- スピーカー（各警報所・警報車）からのアナウンス

「川が氾濫します。危険です、危険です、ただちに命を守る行動をとってください」

- 電光表示板の表示内容

ダム放流中の表示

ダムより流下中
最大〇〇トン見込み

異常洪水時防災操作（緊急放流）の表示

非常事態
ダム放流量激増

上記のサイレンやアナウンス、電光表示板の内容を確認したらダム下流域で氾濫が発生することを意味します。直ちに命を守る行動が必要です。

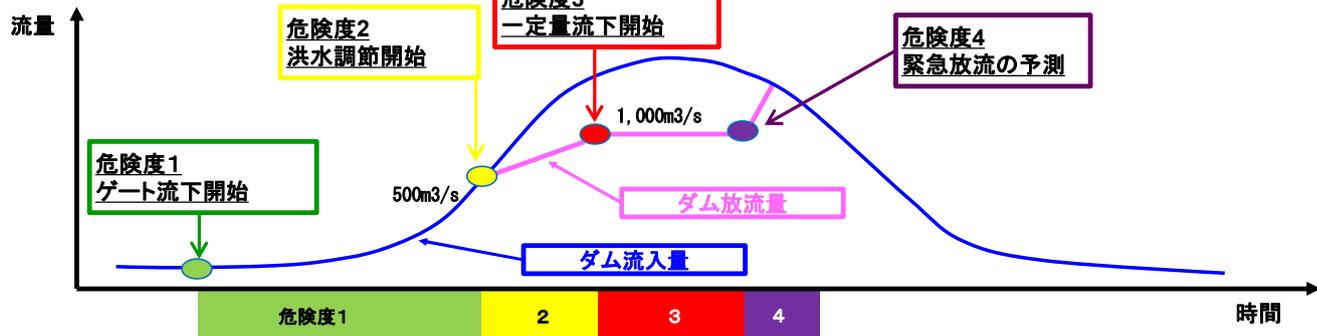
重要

野村ダムの放流警報設備・放流警報板

ダムに関する情報等をわかりやすく表現しています。(危険度の表示等)

- 危険度合に応じたランプが点灯します。
- 地域住民や肱川に訪れた人が危険性を直感的に理解しやすい色にしています。

段階イメージ



■ランプの色で危険度を表示します。

危険度2
洪水調節開始
(流量500m³/s)に達した時～

危険度1
ゲートより流下開始～



危険度4
緊急放流の予測

危険度3
一定量の流下開始
(流量1000m³/sを限度)

■放流警報板の河川利用者に向けて、放流警報板を設置しています。

**サイレンがきこえたら
川からはなれましょう!**

この川の上流に「野村ダム」があります。
ダムは、大雨の際に上流に降った雨を安全に流すことを目的に操作します。

すぐに川からはなれてください ～川の水が急に増えます～
ダムが放流をはじめるとき
約1分間のサイレンが3回鳴ります

1分 1分 1分

洪水前に水位を下げ、水位を低く保ち洪水貯留に備えるために、ダムは早めに放流を開始します。川の水が急に増えるので、サイレンがきこえたらすぐに川からはなれてください。

緊急時

命を守る行動をとってください ～川が氾濫します～
ダムが異常洪水時防災操作に移行するとき
約1分間のサイレンが9回鳴ります

1分 1分 1分 1分 1分 1分 1分 1分 1分

ダムの上流で強い雨が降り続き、貯水池が満水に近づくと、流れ込む水とほぼ同じ量の水を流す「異常洪水時防災操作」を行います。川が氾濫し、また、既に氾濫している箇所は拡大するおそれがあります。命を守る行動をとってください。

つなごう 肱川
国土交通省 四国地方整備局
野村ダム管理所 TEL:0894-72-1211

野村ダムの情報入手の仕方について

野村ダムの状況(流入量、流下量、貯水位等)について各媒体をとおして確認できます。

1. WEB媒体の情報

利用方法

1) パソコンをご利用の場合
<https://www.river.go.jp>

2) コードをご利用の場合



● サンプル画像

ダム名	水系名	河川名	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)	貯水率 目標値	流入量 (m ³ /s)	全貯水量 (万m ³)	全貯水量 目標値	貯水率 (%)	貯水率 目標値	所在地
野村ダム	肱川	野村川	199,289	11,026	84.2	89.6	0.76	1,461	0.0	0.0	愛媛県西予市野村町野村8-153-1

ダムの諸量貯水位・流入量・流下量が確認できます

2. X(旧Twitter)からのダム情報

利用方法

1) パソコンをご利用の場合
https://x.com/mlit_nomura

2) コードをご利用の場合



● サンプル画像



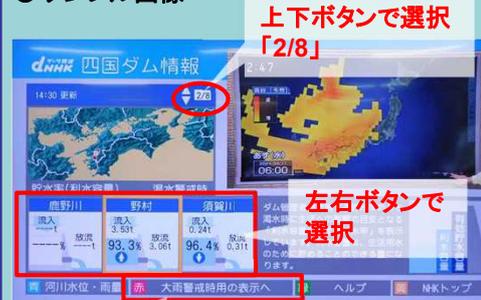
ダムの流下状況をポストします。

3. NHK総合データ放送から

● 四国のダム情報視聴方法

- 総合テレビを選局します。
- リモコンの「dボタン」を押して「データ放送画面」を表示させます。
- 画面右側の中から「四国のダム情報」を選択し、決定ボタンを押します。
- 気象レーダー画面(地図)上にダムの位置が表示され、画面下にはそれぞれのダムの情報が表示されます。また、リモコンの上下ボタンで表示ページを変更できます。野村ダムはページ「2/8」にあります。
- リモコンの左右ボタンでそれぞれのダムを選択すると、地図上の位置表示が点滅します。
- ダム全体(有効容量)の貯水率が知りたい場合は、「赤ボタン」を押すと、貯水率の表示を切り替えられます。
- リモコンの緑ボタンを押すと、表示されている情報の説明画面(ヘルプ画面)が現れます。

● サンプル画像



赤ボタンで貯水率表示切替

ダムの流入量・流下量・貯水率が確認できます。

4. 西予CATV(株)からの野村ダムCCTV映像

● サンプル画像



●野村ダムの映像(貯水池、ダム直下流、ダム下流、ダム上流)を10秒毎にスクロール表示しています。



●カメラ映像の下部に野村ダムからの流下情報をテロップで表示しています。(通常時は表示しません)



☆西予CATV加入の方は地上デジタルCH122「ライフch2」で見れます。

国土交通省 四国地方整備局 肱川ダム統合管理事務所

〒797-1212 愛媛県西予市野村町野村8-153-1

TEL 0894-72-1211

FAX 0894-72-3895